

## 前期基本計画 平成30年度 基本施策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策：07 効率的な汚水処理施設の整備

主管課長職・氏名	下水道課長 古前田 聡
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の平成30年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	公共下水道事業と浄化槽設置整備補助事業の両輪で、効果的、経済的に汚水施設整備を推進し、適正に管理されているとともに、今後下水道施設を長期安定的に運営するために必要な経営方針や施設の計画的更新の骨子が明らかになっています。
--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度	進捗率(%)	
1	暮らし 水洗化率(行政区域内人口に対する合併浄化槽も含めた水洗化率) 単位 %	76.7	77.5 82.5	78.5 84.5	79.5 85	80.4 85	80.4 85	A 224.3	
2	幸福 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単位 %	74.2	75 72.3	75.7 78.3	76.4 74.6	77 69.2	77 69.2	D △178.6	
	単位								

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度	進捗率(%)	
1	暮らし 04070100 環境にやさしく快適な下水道の整備 水洗化率(行政区域内人口に対する合併浄化槽も含めた水洗化率) 単位 %	76.7	77.5 82.5	78.5 84.5	79.5 85	80.4 85	80.4 85	A 224.3	
2	幸福 04070100 環境にやさしく快適な下水道の整備 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単位 %	74.2	75 72.3	75.7 78.3	76.4 74.6	77 69.2	77 69.2	D △178.6	
3	暮らし 04070200 下水道経営基盤の充実 経営資本営業利益率 単位 %	1	△1.1 0.5	△1.1 0.6	△1.1 △0.64	△0.7 △0.51	△0.7 △0.51	B 88.8	
4	幸福 04070200 下水道経営基盤の充実 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単位 %	74.2	75 72.3	75.7 78.3	76.4 74.6	77 69.2	77 69.2	D △178.6	
	単位								

## 前期基本計画 平成30年度 基本施策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策：07 効率的な汚水処理施設の整備

主管課長職・氏名	下水道課長 古前田 聡
関係課長職・氏名	

## 2. 基本施策の実現に向けての平成30年度までの取り組み状況を分析する

## (1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小岩井処理分区においての汚水処理施設の整備、合併処理浄化槽設置に係る助成及び融資あっせんにより汚水処理を推進しました。また、取付管の更新・更生工事を実施し、汚水処理施設の長寿命化を図りました。</li> <li>・マンホール蓋の交換を実施し、汚水管への雨水等の侵入を防止する不明水対策を実施しました。</li> <li>・下水道基本使用料及び超過料金単価の改定を実施しました。</li> </ul>	

## (2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <p>経費及び工事コストの縮減、下水道使用料等の確実な収納、整備計画の変更や維持管理計画の策定に向けた調査の実施。</p> <p>【重点課題に対応した達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準工法の採用、経費比較による工事コストの削減を実施しました。</li> <li>・徴収委託による徴収を引続き実施し、臨戸徴収や督促状等の発行など滞納処理を実施しました。</li> <li>・整備区域の見直しのため、未整備区域の費用対効果の再算定を実施しました。</li> </ul>	

## 3. 基本施策の実現に向けての平成30年度実施後での変化を認識する

## (1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚水処理施設の老朽化</li> <li>・補助事業の主たる財源である国庫補助金の変動</li> <li>・市街化区域以外での公共下水道への接続率の低迷</li> </ul>	

## (2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>政策達成のため、引き続き同一内容の基本施策の実施が必要であるため、見直しの必要はありません。</p>	

## 4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

## (1) 令和 2年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <p>引き続き効率的な汚水処理の実現に向け、事業実施の効率性、経済性及び採算性についても検証し整備を進めます。</p> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アセットマネジメント計画の策定</li> <li>・災害時や施設の突発的な大規模故障時に備えた資金力の強化</li> <li>・整備計画区域の見直し</li> </ul>	

